



創立148年

石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 ともを大切に**する子

坂本小だより 令和4年11月号

児童数540名

11/1

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

【校長 上島 憲一】

『一体感のある雰囲気』～多と先生、そして保護者、地域～

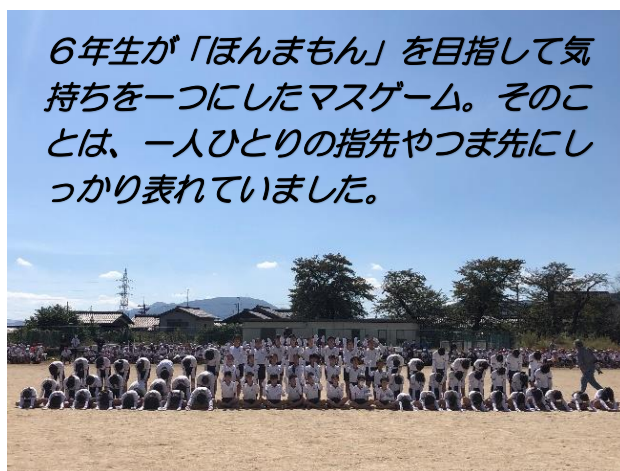


全校児童そして保護者の方々に見守られながらの運動会。天候の心配もなく無事に、そして成功裏に終わることができました。子ども達にとっても満足いく1日だったことが**たくさん笑顔**から伝わってきました。

今年度は、熱中症対策とコロナの感染状況を鑑み10月中旬の開催を決めて進めていきましたが、練習の始まった9月下旬からの天候が安定したこともあり、どの学年もしっかり練習を積み上げていくことができ、子ども達も自信をもって当日を迎えられたようです。そのことが当日の競技や演技にしっかりと表れていました。

また私自身、各学年の練習終盤の様子を見ていてかなり良い感触を得て当日を迎えましたが、予想をはるかに超える感激でした。その要因は、練習時にはなかった**会場の雰囲気**です。おうちの方々の温かい声援やまなざしとそれに応えようとする子ども達の緊張交じりの懸命な姿が作り出す**“親子の一体感が凝縮されたまとまりある空気”**そして**“自信に満ちた表情で挑んでいる雰囲気”**でした。その中いることで子ども達一人ひとりがつくる大きなエネルギーを感じました。これらのエネルギーを生み出しているのは子ども達の力であることはもちろんですが、それを支えるおうちの方々、そして力を引き出す先生たちの熱意があつてこそです。

この素晴らしい雰囲気は、1か月弱の期間、子ども達と先生たち、そして保護者の方々がともに**信頼しあつて準備してきた結果**です。お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。



6年生が「ほんまもん」を目指して気持ち一つにしたマスゲーム。そのことは、一人ひとりの指先やつま先にしっかり表れていました。



〈11月12月の主な学校行事 11/1現在〉 今後変更になることもありますので各学年の通信等でお確かめください。

--	--

学学調査(学習状況)の状況

4月に実施された全国学力学習状況調査。その結果【概要】から本校の強みや弱みを分析し、以下のようにまとめました。これらをもとに指導の充実に向けて、年度後半そして次年度へつなげていきます。詳細は裏面及びHP参照。

【概要】

国語科では、読書量が増加している児童が増えてきていることに起因して長い文を読み慣れてきたことが、登場人物の行動や気持ちについて考える問題の正答率が高い傾向が見られました。今後も読み優先の漢字学習を充実させると共に家庭とも協力しながら読書活動への取組をすすめていきます。さらに、自分の考えを書いて表現する活動を各教科で大切に、弱みである記述問題への対策とします。

「算数科では、数と計算」領域の基礎的な計算問題で正答率の高い傾向が見られました。しかし、数の処理を多面的に考察する問題や「図形」領域において課題が見られました。今後は、基礎的な計算はもちろん、発展的に思考する様々な問題に触れることも取り入れた学習活動を目指します。

理科では、実験の結果をもとに、その根拠を記述する問題等に課題が見られました。実験結果から考察する一連の過程で根拠を明確にして思考しまとめる活動を大切にします。



<10月の様子> みんな頑張ってます

<親子クリーンウォークラリー>



新型コロナも終息とは行きませんが、対策を講じながら開催された学区のイベント。好天の休日にゴミ拾いしながら地域の各所を巡りました。スポーツ少年団のみんなも参加してくれて大いに盛り上げてくれました。やっぱり地域のイベントっていいものです。

<修学旅行>



<海あり山あり手助けなし> 6年生が若狭自然の家へ自然体験に出かけました。世間から離れた自然豊かな土地で過ごした2日間。至れり尽くせりの便利な生活からかけ離れていたからこそそのありがたみを感じることもできました。

<日吉大社写生大会>



<芸術の秋> 出前授業で陶芸教室を実施して信楽焼の土鈴づくりをしたり、地元日吉大社の写生大会に参加したりするなど、芸術の秋らしい学習も充実しました。

<信楽焼体験>



<読書の秋> PTAと図書司書さんとの合同企画『いこ！いこ！図書室』イベント第1弾！「図書室スタンプラリー」が始まっています。本を借りる毎に手作りスタンプを押して「サカエもん」「モトひめ」を完成させる企画です。少しでも本を手にとってくれないかとの思いでPTAが企画し図書司書さんのアドバイスもあって実現。この後は第2弾!!「ポップづくり」「本の帯づくり」です。乞うご期待。

